

SYSTEM AND METHOD FOR AUTOMATICALLY UPDATING CONTENTS

Publication number: JP2002091864 (A)

Publication date: 2002-03-29

Inventor(s): KURIYAGAWA KAZUHITO

Applicant(s): SYSTEM CONSULTANTS KK

Classification:

- **International:** G06F13/00; G06F13/00; (IPC1-7): G06F13/00

- **European:**

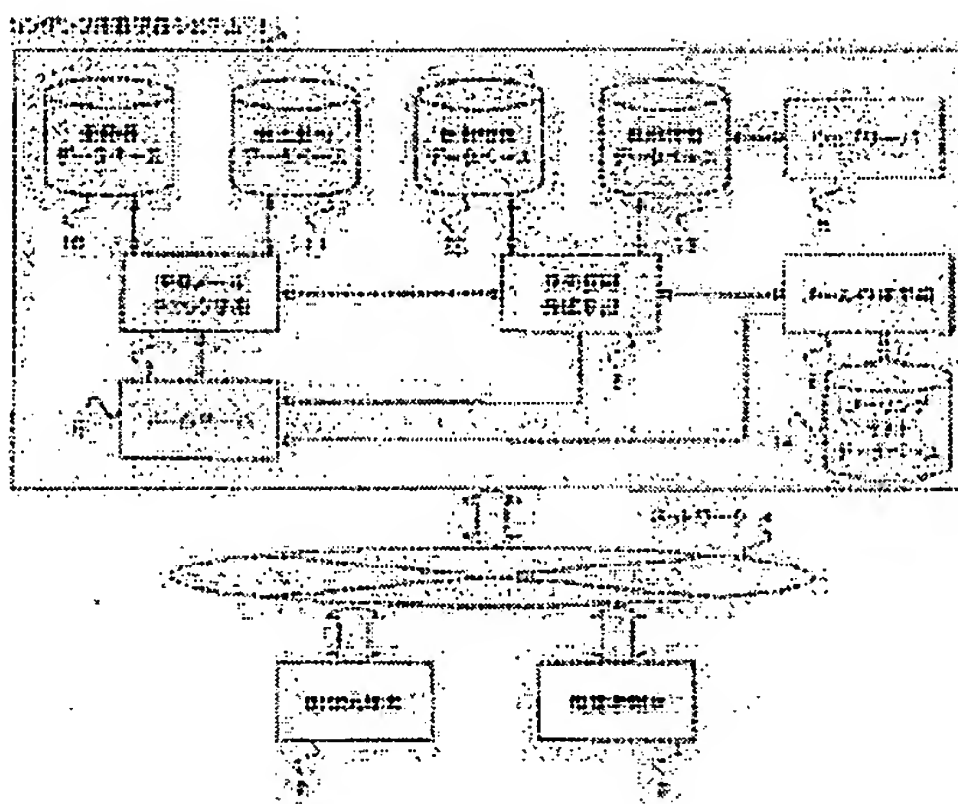
Application number: JP20010113812 20010412

Priority number(s): JP20010113812 20010412

Abstract of JP 2002091864 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system and a method for automatically updating contents, with which information on a home page is automatically updated while using electronic mail.

SOLUTION: This automatic contents updating system has a mail server for receiving electronic mail with contents from the terminal of a distribution source, received mail check means for confirming whether the electronic mail arrived at the mail server or not and deciding whether or not the received electronic mail shows a previously registered distribution source, display information preparing means for storing and registering the received electronic mails of each parameter corresponding to predetermined parameters, mail preparing means for transmitting the normal registration of the electronic mail to the terminal of the distribution source when the received electronic mail is normally registered, and a Web server for displaying the information stored corresponding to the parameter on the home page for each parameter.



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-91864

(P2002-91864A)

(43) 公開日 平成14年3月29日 (2002.3.29)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 13/00

識別記号

5 6 0

F I

G 0 6 F 13/00

テ-マ-ト* (参考)

5 6 0 A

審査請求 有 請求項の数12 O L 公開請求 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-113812(P2001-113812)

(22) 出願日 平成13年4月12日 (2001.4.12)

(71) 出願人 300088371

システム・コンサルタンツ株式会社

東京都品川区西五反田2丁目21番1号

(72) 発明者 厨川 一仁

東京都品川区西五反田2丁目21番1号 シ

ステム・コンサルタンツ株式会社内

(74) 代理人 100100402

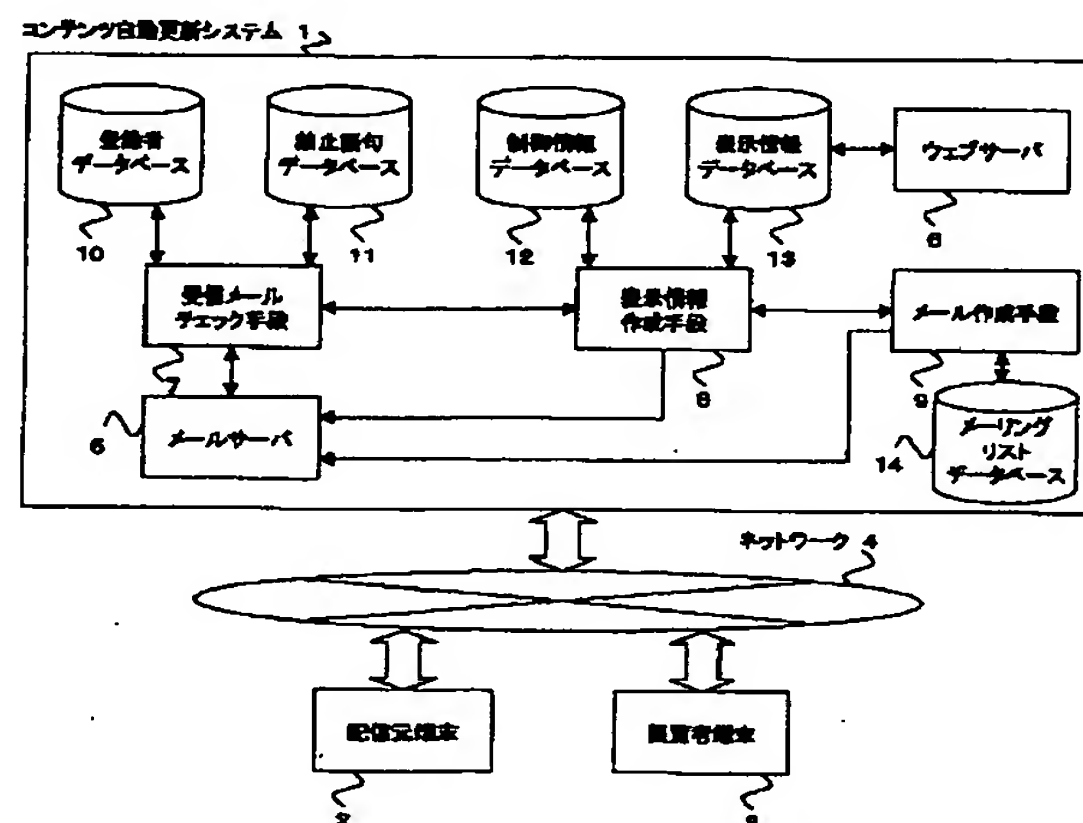
弁理士 名越 秀夫 (外1名)

(54) 【発明の名称】 コンテンツ自動更新システム及び方法

(57) 【要約】

【課題】 ホームページ上の情報を電子メールを用いて自動更新する、コンテンツ自動更新システム及び方法を提供することを目的とする。

【解決手段】 コンテンツ自動更新システムは、配信元端末からコンテンツが記載された電子メールを受信するメールサーバと、メールサーバに電子メールが到着したか否かを確認し、受信した電子メールが予め登録された配信元か否かを判断する受信メールチェック手段と、受信した電子メールを予め定められたパラメータに対応づけてパラメータ毎に格納し登録する表示情報作成手段と、受信した電子メールが正常に登録された場合に配信元端末に電子メールが正常に登録された旨を送信するメール作成手段と、パラメータに対応づけて格納した情報をパラメータ毎にホームページに表示するウェブサーバとを有するコンテンツ自動更新システム。



【特許請求の範囲】

【請求項1】コンテンツをホームページ上に掲載することを希望する配信元が有する配信元端末と、ホームページの閲覧を希望する閲覧者が有する閲覧者端末とネットワークを介してデータの送受信が可能なコンテンツ自動更新システムであって、前記コンテンツ自動更新システムは、前記配信元端末から前記コンテンツが記載された電子メールを受信するメールサーバと、前記メールサーバに前記電子メールが到着したか否かを確認し、前記受信した電子メールが予め登録された配信元か否かを判断する受信メールチェック手段と、前記受信した電子メールを予め定められたパラメータに対応づけて前記パラメータ毎に格納し登録する表示情報作成手段と、前記受信した電子メールが正常に登録された場合に前記配信元端末に前記電子メールが正常に登録された旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して送信するメール作成手段と、前記閲覧者端末からのホームページ閲覧要求に基づいて前記パラメータに対応づけて格納した情報を前記パラメータ毎に前記閲覧者端末のホームページに表示させるウェブサーバとを有することを特徴とするコンテンツ自動更新システム。

【請求項2】前記受信メールチェック手段は、前記受信した電子メールの差出人が予め登録された配信元でない場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返信することを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ自動更新システム。

【請求項3】前記受信メールチェック手段は、更に前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれているか否かを判断することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のコンテンツ自動更新システム。

【請求項4】前記受信メールチェック手段は、前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれている場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返信することを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載のコンテンツ自動更新システム。

【請求項5】前記表示情報作成手段は、前記受信した電子メールの差出人を示すパラメータに前記差出人を、件名を示すパラメータに前記件名を、本文を示すパラメータに前記本文を、添付ファイルを示すパラメータに前記添付ファイルに対応づけて格納することを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ自動更新システム。

【請求項6】前記メール作成手段は、前記ホームページ上に情報が追加された旨が記載された電子メールを自動作成し、前記予め登録している閲覧者のメールアドレスに対して前記メールサーバを介して送信することを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ自動更新システム。

【請求項7】配信元が希望するコンテンツを自動的にホ

ームページ上に掲載するコンテンツ自動更新方法であって、前記コンテンツ自動更新方法は、前記配信元端末から前記コンテンツが記載された電子メールをメールサーバに於いて受信し、前記メールサーバに前記電子メールが到着したか否かを確認し、前記受信した電子メールが予め登録された配信元か否かを判断し、前記受信した電子メールを予め定められたパラメータに対応づけて前記パラメータ毎に格納、登録し、前記受信した電子メールが正常に登録された場合には前記配信元端末に前記電子メールが正常に登録された旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して送信し、前記閲覧者端末からのホームページ閲覧要求に基づいて前記パラメータに対応づけて格納した情報を前記パラメータ毎に前記閲覧者端末のホームページに表示させることを特徴とするコンテンツ自動更新方法。

【請求項8】前記受信した電子メールをチェックする際には、前記受信した電子メールの差出人が予め登録された配信元でない場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返信することを特徴とする請求項7に記載のコンテンツ自動更新方法。

【請求項9】前記受信した電子メールをチェックする際には、前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれているか否かを更に判断することを特徴とする請求項7又は請求項8に記載のコンテンツ自動更新方法。

【請求項10】前記受信した電子メールをチェックする際には、前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれている場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返信することを特徴とする請求項7から請求項9のいずれかに記載のコンテンツ自動更新方法。

【請求項11】前記受信した電子メールをパラメータ毎に格納する際には、前記受信した電子メールの差出人を示すパラメータに前記差出人を、件名を示すパラメータに前記件名を、本文を示すパラメータに前記本文を、添付ファイルを示すパラメータに前記添付ファイルに対応づけて格納することを特徴とする請求項7に記載のコンテンツ自動更新方法。

【請求項12】前記受信した電子メールが正常に登録された際には、前記ホームページ上に情報が追加された旨が記載された電子メールを自動作成し、前記予め登録している閲覧者のメールアドレスに対してメールサーバを介して送信することを特徴とする請求項7に記載のコンテンツ自動更新システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ホームページ上の情報を電子メールを用いて自動更新する、コンテンツ自

10

20

30

40

50

動更新システム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】現在、インターネットに代表されるネットワーク上には、多数のホームページが存在しており、特に社会情報、経済情報等のニュースが記載されたホームページには頻繁にアクセスが行われている。

【0003】このような情報が記載されたホームページを更新するには、従来はホームページの情報を変更するアクセス権限を有している管理者に対して更新する情報を、電子メール、FAX等の手段を用いて連絡し、管理者がこの連絡を受けることによって、ホームページの内容を自ら書き換えることによって行っている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記のような方法の場合、ホームページを書き換えるにはホームページを作成する為の言語である、HTML言語(HyperText Markup Language)等の言語を知っておく必要がある。又、電子メールにしる、FAXにしるホームページの情報を書き換える為には一度、管理者に対して何らかの手法で連絡を取らなければならず、速報性が重視されるニュース等に於いては、そのタイムラグが問題となっている。加えて、ホームページを書き換えるには一度管理者に対して連絡をする必要性から、頻繁にホームページを書き換えることをためらう傾向があり、ホームページの閲覧者にとっては速報性、情報の最新性に疑問が呈される場合もある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明者等は、上記問題点に鑑み、電子メールに更新するホームページの情報を記載しておけば、自動的にホームページの情報の更新が為される、コンテンツ自動更新システム及び方法を考案した。

【0006】請求項1の発明は、コンテンツをホームページ上に掲載することを希望する配信元が有する配信元端末と、ホームページの閲覧を希望する閲覧者が有する閲覧者端末とネットワークを介してデータの送受信が可能なコンテンツ自動更新システムであって、前記コンテンツ自動更新システムは、前記配信元端末から前記コンテンツが記載された電子メールを受信するメールサーバと、前記メールサーバに前記電子メールが到着したか否かを確認し、前記受信した電子メールが予め登録された配信元か否かを判断する受信メールチェック手段と、前記受信した電子メールを予め定められたパラメータに対応づけて前記パラメータ毎に格納し登録する表示情報作成手段と、前記受信した電子メールが正常に登録された場合に前記配信元端末に前記電子メールが正常に登録された旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して送信するメール作成手段と、前記閲覧者端末からのホームページ閲覧要求に基づいて前記パラメータに対応づけて格納した情報を前記パラメータ毎に前

記閲覧者端末のホームページに表示させるウェブサーバとを有するコンテンツ自動更新システムである。

【0007】請求項2の発明は、前記受信メールチェック手段は、前記受信した電子メールの差出人が予め登録された配信元でない場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返信するコンテンツ自動更新システムである。

【0008】請求項3の発明は、前記受信メールチェック手段は、更に前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれているか否かを判断するコンテンツ自動更新システムである。

【0009】請求項4の発明は、前記受信メールチェック手段は、前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれている場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返信するコンテンツ自動更新システムである。

【0010】請求項5の発明は、前記表示情報作成手段は、前記受信した電子メールの差出人を示すパラメータに前記差出人を、件名を示すパラメータに前記件名を、本文を示すパラメータに前記本文を、添付ファイルを示すパラメータに前記添付ファイルを対応づけて格納するコンテンツ自動更新システムである。

【0011】請求項6の発明は、前記メール作成手段は、前記ホームページ上に情報が追加された旨が記載された電子メールを自動作成し、前記予め登録している閲覧者のメールアドレスに対して前記メールサーバを介して送信するコンテンツ自動更新システムである。

【0012】請求項7の発明は、配信元が希望するコンテンツを自動的にホームページ上に掲載するコンテンツ自動更新方法であって、前記コンテンツ自動更新方法は、前記配信元端末から前記コンテンツが記載された電子メールをメールサーバに於いて受信し、前記メールサーバに前記電子メールが到着したか否かを確認し、前記受信した電子メールが予め登録された配信元か否かを判断し、前記受信した電子メールを予め定められたパラメータに対応づけて前記パラメータ毎に格納、登録し、前記受信した電子メールが正常に登録された場合には前記配信元端末に前記電子メールが正常に登録された旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して送信し、前記閲覧者端末からのホームページ閲覧要求に基づいて前記パラメータに対応づけて格納した情報を前記パラメータ毎に前記閲覧者端末のホームページに表示させるコンテンツ自動更新方法である。

【0013】請求項8の発明は、前記受信した電子メールをチェックする際には、前記受信した電子メールの差出人が予め登録された配信元でない場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返

信するコンテンツ自動更新方法である。

【0014】請求項9の発明は、前記受信した電子メールをチェックする際には、前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれているか否かを更に判断するコンテンツ自動更新方法である。

【0015】請求項10の発明は、前記受信した電子メールをチェックする際には、前記受信した電子メールのコンテンツに使用禁止語句が含まれている場合、前記差出人に対して前記受信したメールを登録できない旨が記載された電子メールを自動作成し前記メールサーバを介して返信するコンテンツ自動更新方法である。

【0016】請求項11の発明は、前記受信した電子メールをパラメータ毎に格納する際には、前記受信した電子メールの差出人を示すパラメータに前記差出人を、件名を示すパラメータに前記件名を、本文を示すパラメータに前記本文を、添付ファイルを示すパラメータに前記添付ファイルを対応づけて格納するコンテンツ自動更新方法である。

【0017】請求項12の発明は、前記受信した電子メールが正常に登録された際には、前記ホームページ上に情報が追加された旨が記載された電子メールを自動作成し、前記予め登録している閲覧者のメールアドレスに対してメールサーバを介して送信するコンテンツ自動更新システムである。

【0018】本発明によって、コンテンツをホームページ上に掲載することを希望する配信元は、電子メールさえ使用できればどのような場所に配信元がいてもコンテンツを更新することが可能となる。又HTML言語を知らなくとも、容易にコンテンツを自動作成し送信することが可能となる。

【0019】同時に、従来のようにホームページの管理者に対して、コンテンツを更新する度に連絡を取る必要性がなくなり、管理者に対する気兼ねなく、コンテンツを頻繁に更新することが可能となる。これによってコンテンツの速報性、情報の最新性を重視したホームページ作成が可能となり、閲覧者に対してスピーディーな情報提供が可能となる。

【0020】又、自動化した場合に懸案となる差別用語、猥褻用語等を予めデータベースに格納しておき、それを電子メールを受信する度にチェックするプロセスを付加することによって、ホームページから不適切な情報を排除することを可能とし、システム管理の負担を軽減することが可能となる。

【0021】

【発明の実施の形態】本発明の実施態様のシステム構成の一例を図1に示すシステム構成図に基づいて詳細に説明する。コンテンツ自動更新システム1は、メールサーバ5、ウェブサーバ6、受信メールチェック手段7、表示情報作成手段8、メール作成手段9、登録者データベース10、禁止語句データベース11、制御情報データ

ベース12、表示情報データベース13、メールリングリストデータベース14を有しており、ニュース等のホームページに記載する情報（以下、コンテンツ）の更新を希望する配信元が有する配信元端末2とコンテンツの閲覧を希望する閲覧者端末3とネットワーク4を介して情報の送受信が可能である。本実施態様に於いては、明記されていなくとも、コンテンツ自動更新システム1と配信元端末2、閲覧者端末3との間で情報の送受信が為される際には、ネットワーク4を介しているのは当然である。

【0022】メールサーバ5は、公知のメールサーバであって、ネットワーク上に於いて電子メールの送受信を行うサーバである。

【0023】ウェブサーバ6は、WWW形式のコンテンツを管理する公知のウェブサーバであって、閲覧者端末4からの閲覧要求に応じてWWW形式で情報を閲覧者端末4のブラウザ（閲覧ソフト）に表示させるサーバである。

【0024】受信メールチェック手段7は、メールサーバ7に到着する新着電子メールをチェックする手段であって、その際に、新着電子メールの差出人が予め登録された人（又は法人）（即ち、登録者データベース11に登録されている電子メールアドレス）か否かをチェックし、受信した新着電子メールに、禁止語句データベース12に登録された差別用語や猥褻用語等の禁止語句が含まれているか否かをチェックし、上記いずれかに問題があれば受信した電子メールの差出人に対して、受信した電子メールが無効である旨の電子メールを自動作成し、メールサーバ5を介して送信する手段である。

【0025】表示情報作成手段8は、受信した電子メールに基づいて、差出人、件名、本文、添付ファイル等のパラメータに対応する電子メールの情報を、パラメータ毎に表示情報データベース13に追加する手段である。又表示情報の追加により、制御情報データベース14に格納されている、表示情報の所定の容量、情報の時限性等の制御情報とを対比させ、それに反する情報がある場合には、それを更新する手段である。

【0026】メール作成手段10は、受信した電子メールが新規情報として正常に追加された旨が記載された電子メールを自動作成し、配信元端末2に対して正常に登録された旨をメールサーバ5を介して送信する手段であって、同時にメールリングリストデータベース14に格納している送付先のメールアドレスに対してメールサーバ5を介して、登録された情報を送信する手段である。この際に、単に新規情報が追加された旨を送信するのみならず、追加された情報の概要、又は全文を同時に送信しても良いことは言うまでもない。又この電子メールには新規情報へアクセスする為のURLが記載されていることが好適である。

【0027】登録者データベース11は、コンテンツを

電子メールで更新することが許可されている人（又は法人）等の電子メールアドレスを少なくとも格納しているデータベースである。

【0028】禁止語句データベース12は、差別用語、猥褻用語等の、ホームページ上にコンテンツとして掲載することがふさわしくない語句である使用禁止語句を格納しているデータベースである。

【0029】制御情報データベース12は、閲覧者に対して閲覧させるホームページの、制御を行う情報を格納しているデータベースであって、例えばホームページ上に掲載するコンテンツの数（容量）、掲載されているコンテンツの期限（情報の時限性）等を管理する為の情報を格納しているデータベースである。

【0030】表示情報データベース13は、表示するコンテンツを、その対応するパラメータ毎に格納しているデータベースである。例えば、パラメータとしては、コンテンツの件名を示す「subject」、コンテンツの内容を示す「contents」、画像ファイルを示す「file」等がある。図7に表示情報データベース13のデータ構造の一例を示す。

【0031】メーリングリストデータベースは、コンテンツが更新されたことを連絡する先のメールアドレスを格納しているデータベースである。

【0032】

【実施例】本発明のプロセスの流れの一例を図2と図3に示すフローチャート図を用いて詳細に説明する。コンテンツをホームページ上に掲載することを希望する配信元（例えばニュース配信業者、宣伝業者等）は、自ら有する配信元端末2から配信するコンテンツが記載された電子メールを作成する（S100）。図4に電子メールの一例を示す。

【0033】配信元は、配信元端末2から電子メールを指定された電子メールアドレス（更新データ用アドレス。図4の場合には、update@site.comが該当する）に送信する（S110）。S110に於いて送信された電子メールは、メールサーバ5で受信する（S120）。

【0034】受信メールチェック手段7は、メールサーバ5に新着電子メールがあるか否かを定期的（例えば5分毎）あるいは不定期的にチェックし（S130）、新着電子メールが存在する場合には、その電子メールをメールサーバ5から抽出する。この際に、新着電子メールの差出人の電子メールアドレスが、予め登録された差出人の電子メールアドレスであるか否かを登録者データベース10に基づいてチェックする（S140）。

【0035】S140に於いて、差出人の電子メールアドレスが登録者データベース10に登録されていない場合には、受信メールチェック手段は、その旨が記載された電子メールを自動作成し差出人にメールサーバ5を介して返信する（S150）。

【0036】S140に於いて差出人の電子メールアドレス

レスが登録者データベース10に登録されている場合には、受信した電子メールに使用禁止語句、例えば差別用語や猥褻用語が記載されていないか否かを禁止語句データベース11に基づいてチェックする（S160）。即ち図4に示した例の場合では、件名、本文の欄に使用禁止語句が含まれているか否かをチェックすることとなる。

【0037】S160の結果、使用禁止語句が含まれている場合には、使用禁止語句が含まれている為、コンテンツの掲載が無効である旨の電子メールを自動作成し、差出人に対してメールサーバ5を介して返信する（S170）。この際に、どの単語が使用禁止語句に該当したかを記載することが好適である。

【0038】S160の結果、使用禁止語句が含まれていない場合、差出人（パラメータ：from）、件名（パラメータ：subject）、本文（パラメータ：contents）、添付ファイル（パラメータ：file）毎に受信メールを対応付け、対応するパラメータ毎に表示情報データベース13に追加する（S180）。この際に電子メールのヘッダー等の unnecessary 部分は削除される。

【0039】例えば、図4に示した例では、「パラメータ：from」に該当する部分は「4月27日新製品先行販売開始」が格納され、「パラメータ：contents」に該当する部分は、「???シリーズ オールインワンA4 ノートパソコン×××××を4月27日、店頭より早くインターネットで販売を開始します。」が格納され、「パラメータ：file」に該当する部分は、添付ファイル「???××××.jpg」の添付ファイルが格納されることとなる。図7に表示情報データベース13のデータ構造の一例を示す。又、新規コンテンツが追加された場合には、各コンテンツの順番を一つ繰り下げ、追加するコンテンツを最上位に格納する。図8に表示情報データベース13に新規にコンテンツが追加された場合のデータ構造の一例を示す。

【0040】この際に、制御情報データベース12に格納されている制御情報に違反した場合、例えば容量オーバー、ホームページに記載するコンテンツの件数オーバー等が発生した場合には（S190）、記載されている最も古い情報を表示情報データベース13から削除する（S200）。又最も古い情報ではなく、S180に於いて追加した情報以外の情報の中で、最もアクセス数が少ない情報、あるいは最も最後にアクセスされた情報を削除しても良い。

【0041】表示情報作成手段8で、ホームページに掲載する情報を作成後、メール作成手段9は、正常に情報が登録された旨が記載された電子メールを自動作成し、配信元端末2にメールサーバ5を介して送信し、同時にホームページに新規情報が追加された旨が記載された電子メールを作成し、前記作成した電子メールをメーリン

グリストデータベース14に格納しているメールアドレスに対してメールサーバ5を介して送信する(S210)。この際には、新規情報の追加が為された旨のみならず、追加された新規情報の概略、又は全文が記載されていても良い。

【0042】閲覧者は、閲覧者端末4に送信された新規情報が追加された旨が記載された電子メールを受信することによって、ウェブサーバ6にアクセスしホームページをブラウザで閲覧する(S220)。又電子メールを受信せずともウェブサーバ6にアクセスしホームページを閲覧しても良い。この際に、閲覧者端末3上に表示されるホームページの一例を図5に示す。

【0043】図5には、パラメータsubjectに対応する情報(即ち、S120に於いて受信した電子メールの件名に対応する情報)が記載されており、この情報を選択することによって、より詳細なコンテンツが記載された図6に示すホームページが閲覧できる。図6に示したホームページの場合では、最上位欄にパラメータ: subjectに対応する情報が、左側にパラメータ: fileに対応する添付ファイルが、右側にパラメータ: contentsに対応する情報が記載されている。又、この画面レイアウトは一例であり、他の画面レイアウトに依っても良いことは当然である。

【0044】尚、本発明を実施するにあたり本実施態様の機能を実現するソフトウェアのプログラムを記録した記憶媒体をシステムに供給し、そのシステムのコンピュータが記憶媒体に格納されたプログラムを読み出し実行することによって実現されることは当然である。

【0045】この場合、記憶媒体から読み出されたプログラム自体が前記した実施態様の機能を実現することとなり、そのプログラムを記憶した記憶媒体は本発明を当然のことながら構成することになる。

【0046】プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えばフロッピー(登録商標)ディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、磁気テープ、不揮発性のメモリカード等を使用することができる。

【0047】また、コンピュータが読み出したプログラムを実行することにより、上述した実施態様の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているオペレーティングシステムなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前記した実施態様の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0048】さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコ

ンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わる不揮発性あるいは揮発性の記憶手段に書き込まれた後、そのプログラムの指示に基づき、機能拡張ボードあるいは機能拡張ユニットに備わる演算処理装置などが実際の処理の一部あるいは全部を行い、その処理により前記した実施態様の機能が実現される場合も含まれることは当然である。

【0049】

【発明の効果】本発明によって、HTML言語等のホームページ記述言語を知らなくとも電子メールさえ使用できれば、コンテンツを自動的に更新することが可能となる。又、コンテンツを更新する際に、管理者にその度に許諾を得なくとも、自動的にコンテンツの自動更新が行え、頻繁に新規情報の追加を行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のシステム構成の一例を示したシステム構成図の一例である。

【図2】 本発明のプロセスの流れの一例を示したフローチャート図の一ページ目である。

【図3】 本発明のプロセスの流れの一例を示したフローチャート図の二ページ目である。

【図4】 コンテンツを記載した電子メールの一例である。

【図5】 コンテンツを更新後のホームページの一例である。

【図6】 コンテンツを更新した詳細なホームページの一例である。

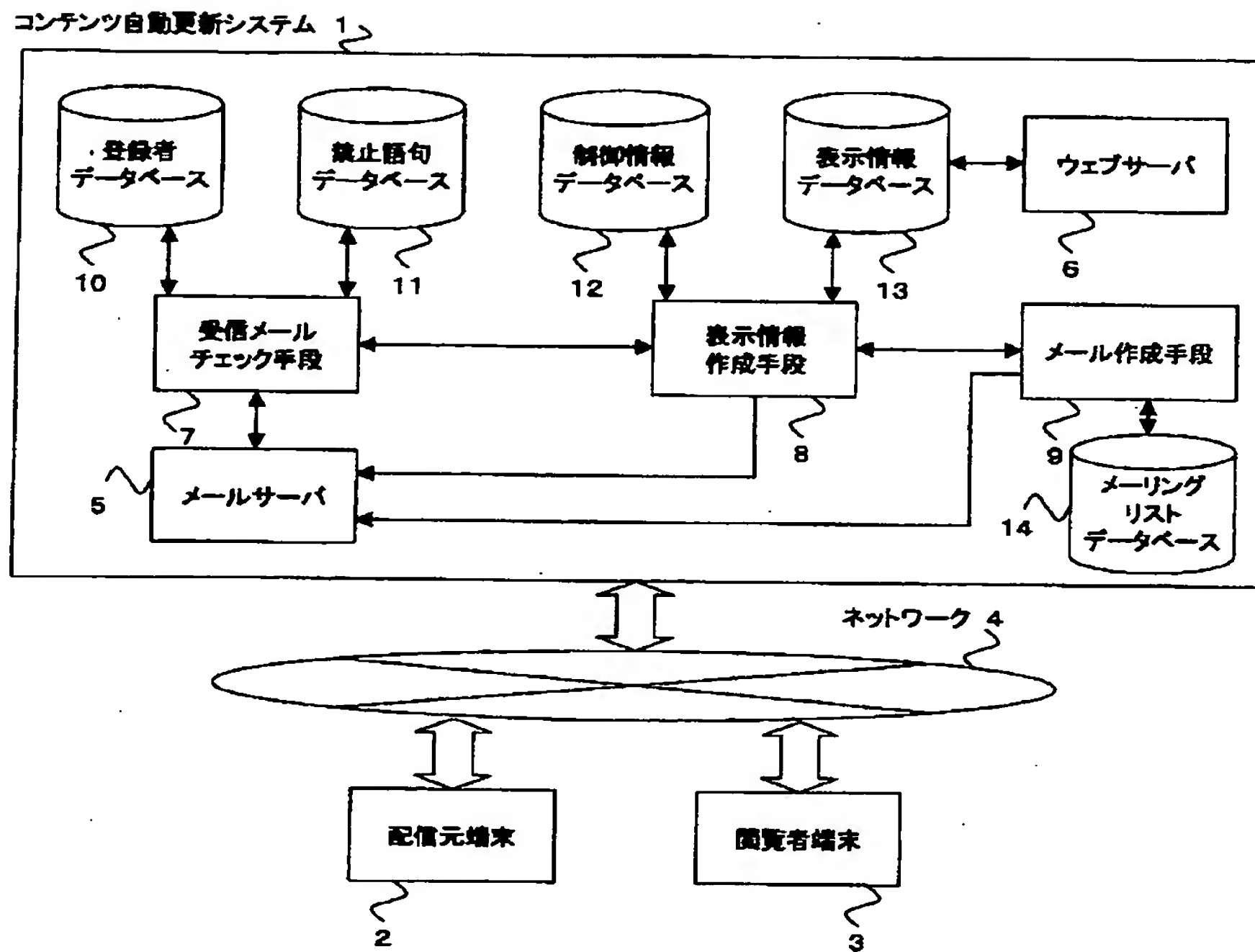
【図7】 表示情報データベースのデータ構造の一例である。

【図8】 表示情報データベースに新規にコンテンツが追加された場合のデータ構造の一例である。

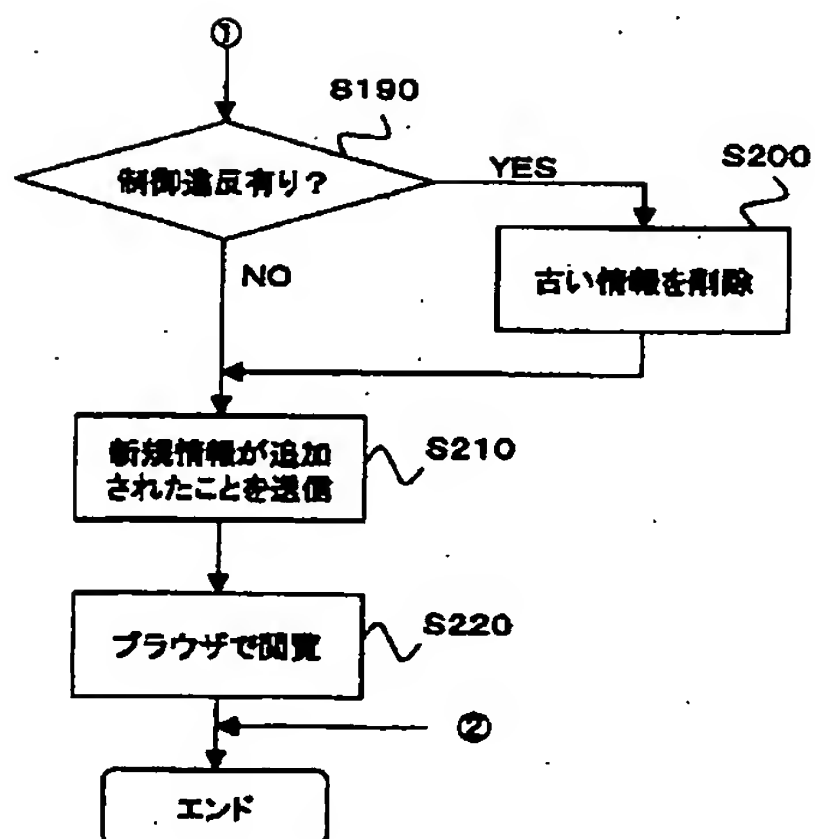
【符号の説明】

- 1: コンテンツ自動更新システム
- 2: 配信元端末
- 3: 閲覧者端末
- 4: ネットワーク
- 5: メールサーバ
- 6: ウェブサーバ
- 7: 受信メールチェック手段
- 8: 表示情報作成手段
- 9: メール作成手段
- 10: 登録者データベース
- 11: 禁止語句データベース
- 12: 制御情報データベース
- 13: 表示情報データベース
- 14: メーリングリストデータベース

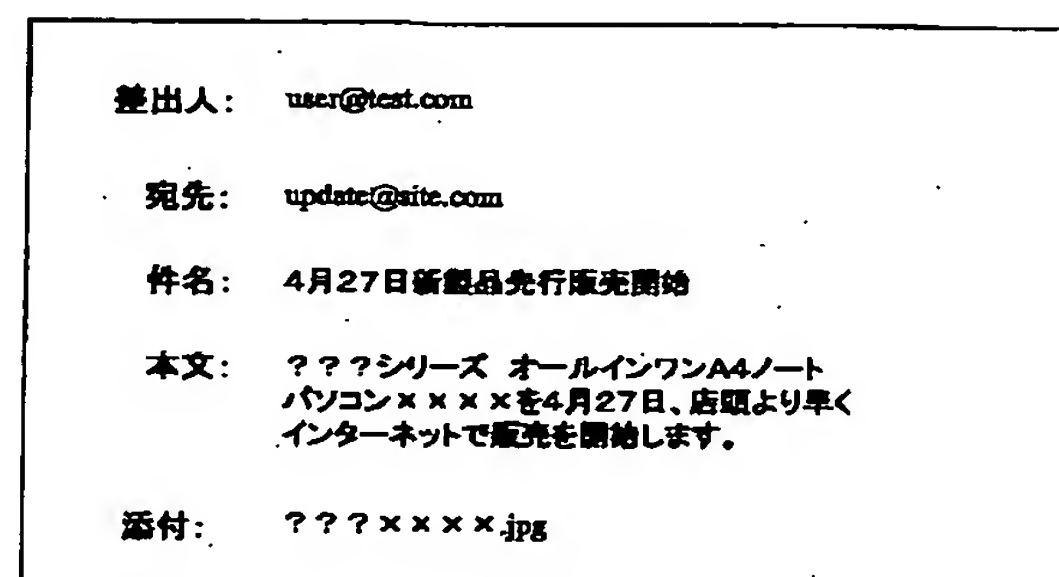
【図1】



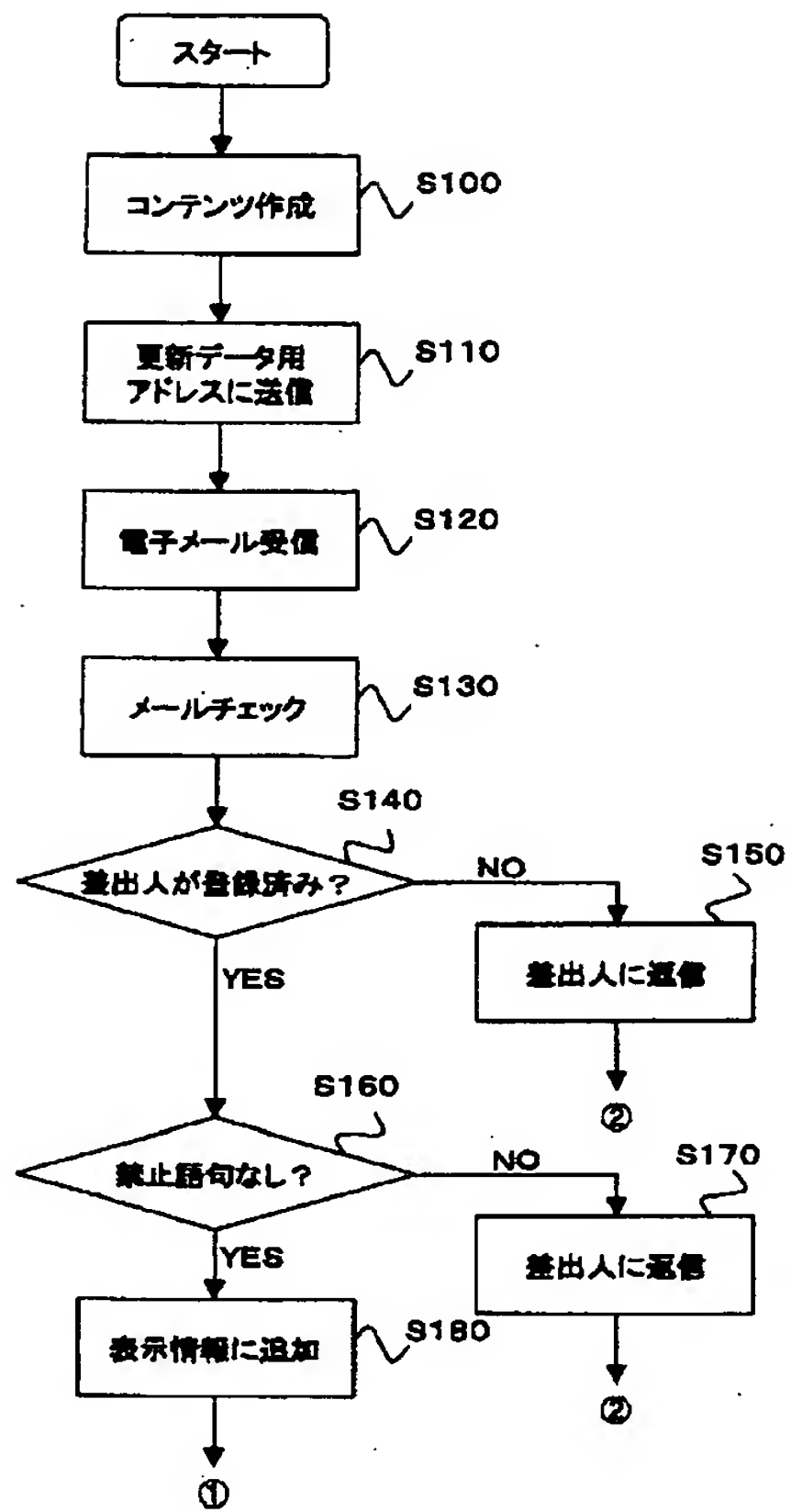
【図3】



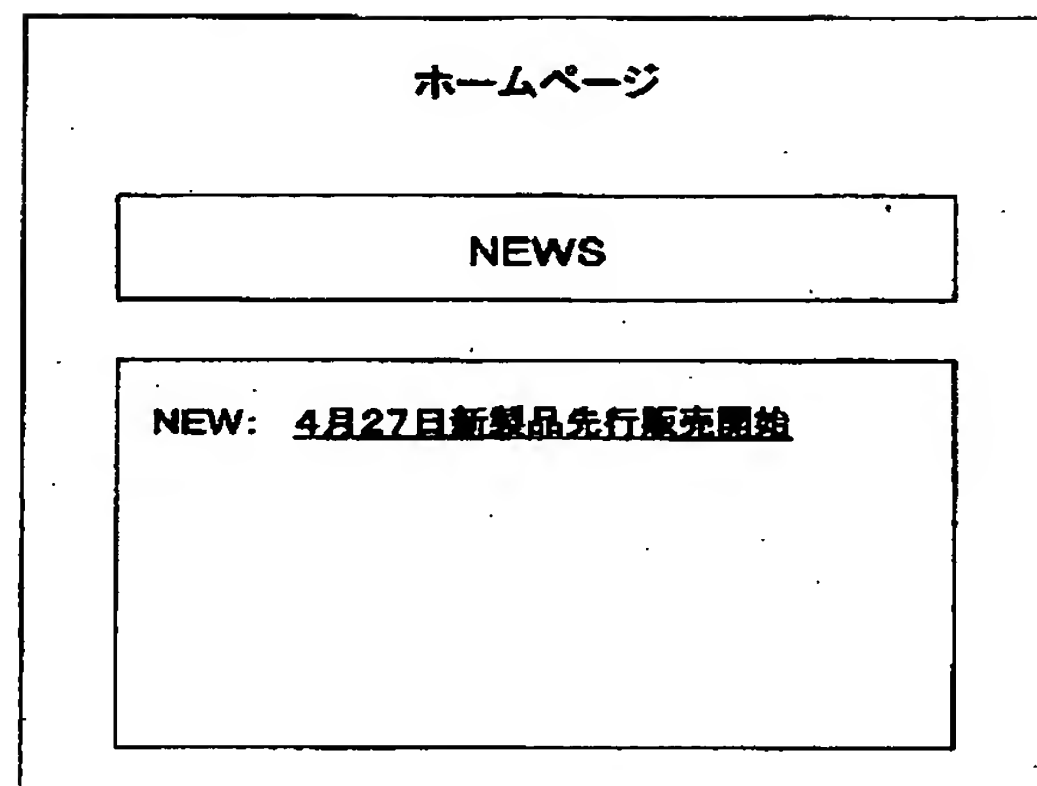
【図4】



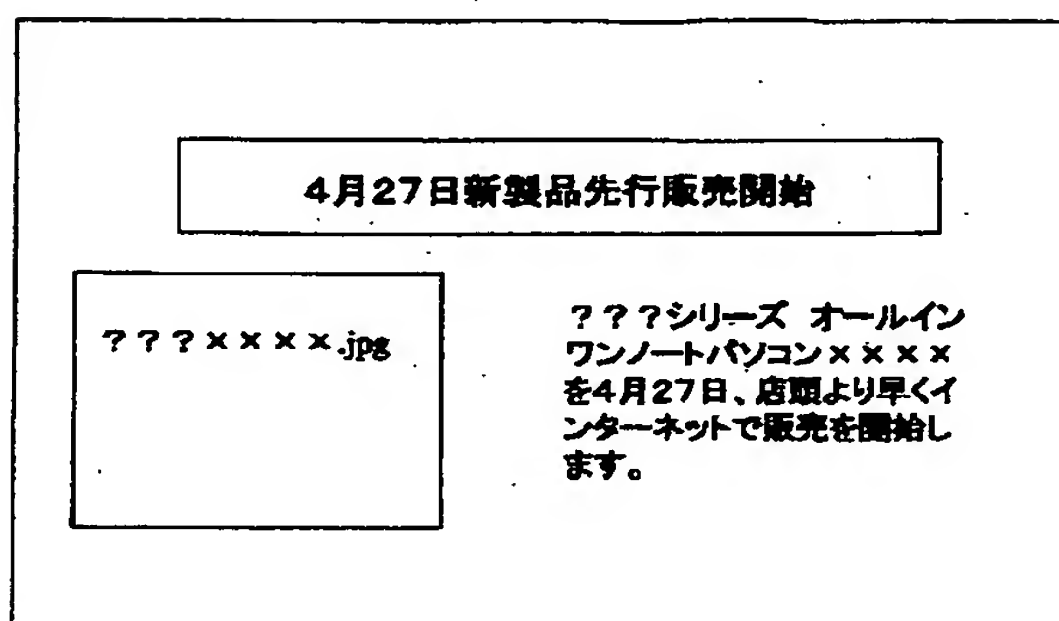
【図2】



【図5】



【図6】



【図7】

コンテンツ番号	送出人(パラメータfrom)	件名(パラメータsubject)	本文(パラメータcontents)	添付ファイル(パラメータfile)
1	user@test.com	4月27日新製品先行販売開始	???シリーズ オールインワンA4ノートパソコン××××を4月27日、店頭より早くインターネットで販売を開始します。	???××××.jpg
2	jouhoukoushin@abc.co.jp	5月より新サービス開始!	5月よりA社は新規携帯電話のBサービスを開始します。本サービスをご利用になるには予め登録が必要となりますが、登録料は今なら無料にて行えます。どうぞご利用下さい。	abc_new_service.jpg
3
.
.
.

【図8】

コンテンツ番号	送出人(パラメータfrom)	件名(パラメータsubject)	本文(パラメータcontents)	添付ファイル(パラメータfile)
1	kokuchi@xyz.com	周期的記憶装置開発!	本日、xyz社は新素材を使用した新たな記憶装置を開発しました。この記憶装置は従来より記憶容量が格段に増加しなおかつ軽量で安価に大量生産することが可能となっています。この記憶装置に関するお問い合わせは、電話番号03-0000-0000まで。	diso.jpg
2	user@test.com	4月27日新製品先行販売開始	???シリーズ オールインワンA4ノートパソコン××××を4月27日、店頭より早くインターネットで販売を開始します。	???××××.jpg
3	jouhoukoushin@abc.co.jp	5月より新サービス開始!	5月よりA社は新規携帯電話のBサービスを開始します。本サービスをご利用になるには予め登録が必要となりますが、登録料は今なら無料にて行えます。どうぞご利用下さい。	abc_new_service.jpg
4
.
.
.